

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協

春号

Shizuoka Rofukukyo Dayori
Spring

だより

(一社)静岡県労働者福祉協議会

労金創立60周年記念式典

勤信協、一般財団法人へ

ユーコープの発足にあたって

災害ボランティアによる図上訓練

国際協同組合年実行委員会閉幕式

ALWF地域セミナー報告

川柳表彰式

福祉基金(ALWF)協会からのお知らせ



乗り越えられない
壁はない

新企画

地区労福協三役の
22地区リレートーク

人物登場

新企画

事業団体職員・労福協役員へ贈る

自主福祉運動の歩み





静岡県労働金庫 創立60周年記念式典・祝賀会



静岡県労働金庫は、60回目の創立記念日である2013年3月1日（金）に、記念式典および祝賀会をグランディエールブuketorukaiで開催しました。
当日は、総勢300名を超える方々にご出席いただき、これまでの感謝を表し、また60年間積み上げてきた「つながり」を財産に、今後の永続的な発展に向かって、心ひとつに新たなスタートを切る機会とすることができました。
記念式典では、加藤理事長の挨拶の後、来賓の祝辞として、静岡県

知事からのメッセージを静岡県経済産業部部長代理 渥美敏之様より代読いただき、続いて財務省東海財務局静岡財務事務所長 堀江弘保様ならびに全国労働金庫協会石橋嘉人理事長よりごあいさつをいただきました。記念式典は厳かな雰囲気の中、執り行われました。

その後、祝賀会では、加藤理事長の挨拶の後、静岡県労働者福祉協議会理事長 吉岡秀規様より祝辞をいただきました。
総勢14名による鏡開きの後、当金庫元理事長（現SRクラブ会長）粟倉義久様のご発声により、労金発展の礎を築いた人、利用拡大に向けて日夜教宣活動が続けてきた人、組合員の相談に親身になって応えてきた人など、出席いただいた多くの先人達と現役職員が交わって、思い出話の輪が広がり、創立60周年記念DVDの上映や三味線ユニット疾風（はやて）生演奏が続き、会場全体が新たな歴史を刻み大きな飛躍への希望に満ち溢れる中、中西副理事長の中締めで、創立60周年祝賀会を終了しました。

〔加藤理事長の記念式典挨拶要旨〕
①1953年3月1日に設立した静岡県労働金庫は、本日創立60周年を迎えました。この60年の歴史を一言で回顧することは困難ではありますが、戦後の混乱の中における創成期のご苦労は大変なものがあったと思います。
②今日、預金量は1兆円を展望し、融資量は6,000億円まで成長することができました。これまで積み重ねてきた運動と努力の成果として、あらためて60年間携わったすべての皆さまに心から敬意と感謝を申し上げます。
③このたび、創立60周年の節目を迎え、60年の歴史に感謝すると同時に、果たすべき役割と責任の大きさをしっかりと自覚し、新たな挑戦に向けてスタートを切ってまいります。
④今後も、長い年月の中で築き上げてきた、多くの皆様との「つながり」を財産として、常に勤労者にとつて一番身近で頼りになる「くらし応援バンク（静岡ろくきん）」であり続けるために、会員・勤労者の皆さまとともに歩んでまいりますので、引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。

静岡勤信協は 一般財団法人へ 移行しました



小塚理事長

静岡勤信協は、平成25年4月1日から新法人「一般財団法人静岡勤信協」に変わりました。公益法人制度改革において、従来の財団法人は「公益財団法人」又は「一般財団法人」への選択を迫られ、当協会は、「一般財団法人」への移行認可申請を選択し、静岡県公益認定等審議会（平成25年1月8日）で移行認可が認められました。事業としては、債務保証事業を従来通り行っていますので新法人への移行後も何ら変更ありません。

今回の移行認可申請において最大の課題は、昭和40年に当協会が設立された以降、苦勞しながらも地道に積み重ねてきた正味財産を、今後の債務保証事業のために如何に保全するかでありました。

公益法人制度改革のため新たに施行された法律では、「一般財団法人」を選択すると原則として、これまで保有して来た正味財産は、公益目的の実施事業（赤字となる事業）を設定しその全額を使い切るよう求めるものでした。これは継続して債務保証事業は出来なくなります。このため、現在保有する正味財産は、今後も債務保証事業を継続する上で、必要不可欠な財産であることを証明し、静岡県公益認定等審議会にて認めていただくことが必要でした。

このため、平成22年4月、理事会の諮問機関として「一般財団法人（非営利型）認可申請準備委員会」を設置し、これまで計16回開催し具体的な対策案を検討し、移行認可申請に向け取り組んで参りました。この結果、保有する正味財産の全額を保全し、「公益目的支出計画無し」で移行することができました。

これにより、今後も優良保証機関として、労働金庫と共に勤労者の生活、福祉の向上に向け邁進することが可能となりました。改めまして、これまでご尽力いただきました皆様方に感謝申し上げます。

生活協同組合 ユーコープの 発足にあたって



コップしずおか・コップかながわ・市民生協やまなしはこれまで30年近くにわたり、全国の生協に先駆けて共同連帯のもとで事業を進めてまいりました。2008年、生協法改正により生協の県域を越えた事業と活動が認められ、合同の門戸が開かれました。
3つの生協の理事会では、組合員のくらしと地域社会へいっそう貢献していくために「新しいコップ」をつくることが必要であると判断しました。この4年間、組合員の皆さんとともにいねいに話し合いを進め、2012年10月5日に開催された3生協の各臨時総代会で、それぞれ賛成多数で組織合同が議決されました。
2013年3月21日、生活協同組合ユーコープは組合員数180万人、供給高1,900億円の、静岡・神奈川・山梨3県をエリアとする生協として船出しました。
組合員のくらしとユーコープの経営をめぐる環境は大変厳しくなっています。2020年ビジョン「人と人をつなぎ、生きるを支える」の実現をめざし、一人ひとりの幸せなくらしのために、ユーコープは「こころ」と「くらし」の身近な支え役として、3つの生協がはぐくんできた連帯の力を結実させ、あらたな一歩を踏み出します。



国際協同組合年 静岡実行委員会閉幕式


1月30日、静岡市のクーポール会館で国際協同組合年静岡実行委員会の閉幕式が開催されました。静岡県実行委員会は、2012年が国連で定めた国際協同組合年にあたり、協同組合の価値や協同組合が現在社会で果たしている役割等について広く県民に認知されるような取組みと、協同組合運動を促進する取組みを行うことを目的として2011年11月に設立されました。実行委員会は県労福協、労働金庫、県生協連、農業協同組合中央会などの8団体で構成され、各種活動を進めて来ました。

2012年に行われた具体的な活動は以下の通りです。

開幕記念講演会	2012年1月24日 グランシップ	事業計画説明と 記念講演	
記念植樹	2012年5月12日 富士宮市北山大久保	クヌギ・コナラ苗木 250本を植樹	
記念演劇	2012年8月24日 静岡市市民文化会館	わらび座によるミュージカル 「おもいでぼろぼろ」の公演	
育林活動	2012年9月29日 富士宮市北山大久保	記念植樹地の保全を図る ために草刈作業を実施	
海外視察研修	2012年 10月20日～26日 ロッヂデール公正先 駆者組合記念施設 などの視察	「協同組合の 源流を学ぶ」の 実施	
地域清掃活動	2012年11月18日 安倍川親水広場	安倍川流木クリーンまつりに参 加し、流木の除去作業を実施	
地域イベント	2012年 11月24日～25日 ツインメッセ	「産業フェアしずおか2012」に参加 し国際協同組合年のPR活動および 「さばじゃが君」試食を実施	

協同組合間の連携で開発された「さばじゃが君」はマスコミによる報道が予想以上に行われ、問合せも多くあったと聞いています。その意味では協同組合の認知度は一定程度、向上したのではないかと思います。1月30日をもって国際協同組合年実行委員会は解散しましたが、育林活動などは引き続いて行う予定です。また、多くの方の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

オリジナルブランド品の企画・開発
 「静岡発 さばじゃが君」
 規格外のゴマサバと規格外のジャガイモをメンチした商品を開発



第8回 災害ボランティアによる 救援活動のための 図上訓練開催される

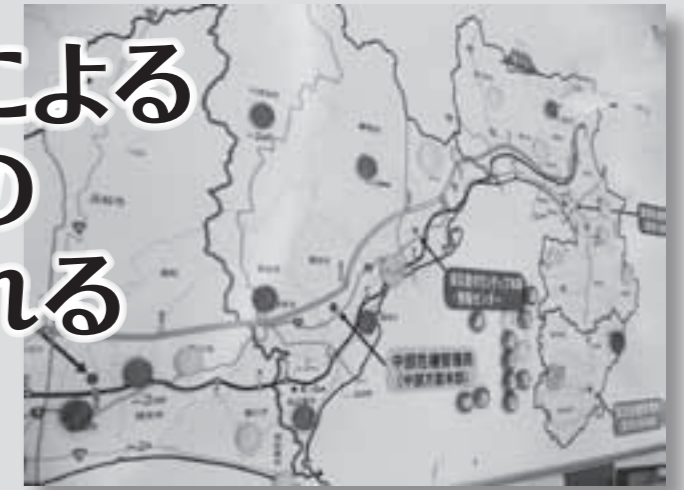


3月2日～3日に労政会館で県内外のボランティア団体の関係者が420名集まり、静岡県、ボランティア協会、福祉基金協会などの主催の「第8回災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練」が開催されました。従来の訓練は県内外の災害ボランティアと関係者との信頼関係の作りや情報交換の場として訓練を行ってきました。しかし、今回は訓練の場だけに終わらないようにするために、平時から県内外の団体の繋がり・取組みを広げるための訓練として2日間に渡り行われました。

今回の参加団体に対しては訓練の事前課題の提出を義務付けていました。課題の内容は東海地震における市町の被害想定、参加団体のある市町の現状分析や参加団体のある市町のPRをシートに纏めてくることでした。

1日目は東日本大震災で、いち早く沿岸被災市町の支援を行った遠野市の動きを学び、自分の地域の課題や後方支援の意義などを考えるために、岩手県遠野市長の本田氏を講師として招き「東日本大震災、遠野市はどう動いたか」という演題で講演が行われました。講演の中で遠野市は岩手県の内陸部と沿岸部を結ぶ中間点に位置し、沿岸部が被災した際には後方拠点としての期待がされていることや、後方支援を意識した訓練を実施していたからこそ東日本大震災時にはその訓練がいきたと話をしていました。また、マニュアルに書いてない事も、被災者の事を考えて、本田市長が素早く判断を下したことも話をしていました。

今回の訓練は災害前からの絆づくりがテーマになっていました。大きな災害が起こると全国から多くの支援者が被災地に入ってきます。しかし、知らない人ばかりで、どの団体を信用して良いのか分かりません。そこで、平時から「顔の見える関係」



作りの為に、県内外の団体をお互いに知り、平時からのお付き合いの出来るパートナー探しを行いました。パートナー探しの仕掛けとして、県内団体と県外団体のお見合いを行いました。具体的には、県内からの参加団体は県外の参加団体のブースを訪問しながら情報収集し、自分たちの団体と交流・支援を希望する団体を探すというものです。また、県外からの参加団体も同様に交流・支援希望する県内の団体を選択していきます。お互いの県内外の団体同士が上手くマッチング（相思相愛関係）出来ればいいのですが、マッチング出来ない団体については県ボランティア本部が仲人となり参加団体を紹介し、県内外団体とのマッチングを行いました。

1日目の研修会後には懇親会も企画されており、県内外の団体との交流がされました。

2日目は継続した関係づくりの為にマッチング出来た団体同士が更に交流を深め、今後どんな交流が出来るかなどの話し合いを行いました。

今回の訓練で県内外団体との絆が深まり、具体的な交流が約束された団体もありました。また、志太榛原地域では、ボランティアセンターの立上げ訓練に、まずはお互い訓練に参加して、将来的には志太榛原地域で統一して立上げ訓練を行いたいとの報告がありました。今回の絆が末永く続き、災害時にこの絆が活かされることを期待しています。





ライフサポートセンター友の会の会報や労福協だよりで、昨年11月1日から30日まで募集しました第8回川柳募集は、前年と比べて約150点も多い367点と、大変多くの皆様からご応募いただきました。本当にありがとうございました。今年のお題は『財布』でした。

多田幹江選考委員長はじめとして選考委員皆様に下記の作品を選考いただきました。

1月22日に最優秀賞並びに優秀賞に選考された皆様に出席いただき、勤労者総合会館4階会議室で表彰式を行いました。

次回の第9回川柳募集は今年の11月から行う予定です。お題は決まっていますが、多くの皆様のご応募を期待しています。

第8回 川柳 最優秀賞決まる

- 最優秀賞**
 空財布妻の目線の位置に置き
 村上 春義
- 優秀賞**
 使いたい心の財布他人のため
 杉本 信夫
- 優秀賞**
 年金がすぐに旅立つ仮の宿
 蔦田 延行
- 優秀賞**
 さむ空に我が財布にもすき間かぜ
 柴 キヨ江
- 優秀賞**
 家計よりもっと締めたい妻の口
 山梨 弘
- 優秀賞**
 やりくりを見てきた財布 捨てられず
 渡辺 春美

～次代を担う若手リーダーの育成を目指して～ 2012年度『ALWF 地域セミナー』開催

福祉基金協会の教育事業の一つである2012年度「ALWF地域セミナー」が、2月1日東部地域(会場:「ホテル沼津キャッスル」)、2月8日(会場:浜松「呉竹荘」)、2月15日(会場:静岡「クーポール会館」)の三会場に於いて延べ170名余の参加者で開催されました。



セミナー風景

このセミナーの開催目的としては、“自主福祉運動への理解を得て将来を担うリーダーの育成”と“労働組合及び福祉事業団体への意識を高め参画と実効を目指す”として、就任3年以内の役員経験が浅い労働組合役員等が参加対象です。要約すれば、“労働者福祉運動入門コースの初級編”としての位置づけをしております。労働組合の役員に就いた途端に「労福協活動」への参加、そして「労金」「全労済」の取組推進をすることが求められますが、何で「労福協活動」なのか、何で「労金」「全労済」の取組推進をしなければならないのかなど、事業団体についての成り立ち・意義などを含めイロハを理解していただきたいのです。

また、日ごろより労組三役の方々であれば、「労働団体・労福協・労金・全労済」など地域で他労組の方々との交流場面がいくつもありますが、役員就任が浅い執行委員の方々ですとそのような場面も少ないと思いますので、他労組役員の方々との意見交換と交流の場面にさせていただければとの主催者側の想いもあります。この「地域セミナー」は毎年開催をしておりますが大変好評を得ており、今年は分散会の時間も少し多めにとりながら、皆が参画できるワークショップも盛り込みました。

■セミナーの講座内容

- ① 講義 講師 ～自主福祉運動の歴史と意義～ 『静岡県労働者福祉運動小史』に学ぶ
 静岡県労働者福祉運動小史 講師団
 - ② 活動報告 講師 ～ALWF地域セミナーのみなさんへ～ 『労福協活動について』
 県労福協 事務局長
 - ③ 講義 講師 ～静岡労金からの提案～ 『ろうきんの活動と制度について』
 静岡労金職員
 - ④ 講義 講師 ～全労済からの提案～ 『保障設計運動について』
 全労済静岡県本部職員
- 2.分散会&ワークショップ
 分散会 ～ 自己紹介・講義、活動報告を受けての懇談&意見交換
 ワークショップ ～ 「運動小史・労福協」「労金」「全労済」について考察
- 3.交流会&分散会報告会



分散会報告<成果物発表>

■参加者アンケートの主な感想

運動小史：労働者自主福祉運動の意義・歴史についてと、労働組合活動から生まれ労働運動の一環であることが理解できた。引き続き運動を発展させていく必要があり、今後の組合活動のひとつとして活かし若い人たちへも伝えていきたい。

労福協：県労福協・地域、地区労福協の活動を理解することができ、働く人たちの幸せを求めて、幅広く活動していることが学べた。

労金：労金を利用すると勤労者の生活向上に繋がることと、皆が運営に関わっていることが理解できた。また、組合員への知らせる活動について大変に参考になったので、これからは労金の制度や商品がより良いものになるように協力していきたい。

全労済：保障設計運動の大切さが理解でき、自分の保険の見直しをしたいので全労済に相談していこうと思う。また組合員が万が一の時も困らないように、組合員の相談にのり、皆に伝えていく役目を果たして運動に取り組みたい。

等々……

総じて、セミナーに参加して、歴史・労福協・労金・全労済について理解を深めることができ、良いところを取り込み今後の実践活動を広めていきたいとか、分散会においては、他労組の取組が紹介され懇談・交流もできて新しい気づきもあった。そして、ワークショップを盛り込んだことで、皆と打ち解けることができ、意見交換及び考え方が確認できて大変有意義であったと等の感想があった。



分散会ワークショップ風景

主催事務局としては、参加者がこのセミナーで学んだことを、各組合へ持ち帰り活かしていただくと同時に、次代を担う若手リーダーとして育てていただくことを期待して止みません。

ロッキーカレッジのご案内

第1回
沼津5/24
浜松5/25

(仮)人生笑って暮らしたい
講師:喜味家たまご

漫才師「喜味こいし」の次女。3歳より日本舞踊を始め、藤間流師範、藤間史貴の名前で活動。浄瑠璃・新内を岡本派「岡本弥八」に師事し、平成7年阪神淡路大震災より、三味線放談「喜味家たまご」として拠点を神戸から大阪へ移す。現在、繁昌亭や落語会、演芸会、ラジオ等に出演。



第3回
沼津6/11
浜松6/8

演題未定(エンディング・墓)
講師:二村祐輔

日本葬祭アカデミー教務研究室主宰、(株)セピア代表取締役。都内葬儀社に18年勤務後、葬儀コンサルタントとして独立。消費者向け「わかりやすいお葬式セミナー」は大好評。テレビ・ラジオへの出演や、全国各地での講演等で活躍の他、自分らしい逝きかた、家族の為の葬儀大辞典など著書も多数ある。



【今からはじめる老い支度】参加者募集!

セカンドライフを考えることは、「これからの人生」を豊かにします。誰でもいつかは迎える老い、第二の人生をどうデザインするか、自分が望むものは何かを考えてみませんか。このセミナーは、老い支度を前向きに有意義に過ごすためのヒントを含め、これまでの経験や思いなどを各講師よりお話いただきます。

第2回
沼津6/4
浜松6/1

(仮)もう君を幸せにできんと泣いた夫(つま)
～認知症介護を通じて～ 講師:多賀洋子

主婦。京都大学薬学部卒業。若年性認知症を患う元大学教授の夫が亡くなるまでの9年間、介護を続ける。この間の経験を著書として出版、またNHKラジオ深夜便にも出演。現在、同じ苦しみを抱える家族の役に立ちたいと講演活動を行う。著書:ふたたびのゆりかご、認知症介護に行き詰る前に読む本「愛情を込めたウソ」で、介護はラクになる。



会場:沼津/沼津労政会館
浜松/浜松労政会館

時間:13:00~15:00 参加費:各回500円
申込:コープしずおか

TEL0120-878-940(平日9:00~17:00)

※静岡開催 10/5 ロザンナ・ザンボン(ヒデとロザンナ)
10/19 多賀洋子
10/26 二村祐輔

申込みは8月より開始

開催報告

【スマートフォンを購入する前に知っておきたい3つのポイント】

講師:NPO 法人 e-Lunch 理事長 松田直子

【1/26 コープしずおか新沢田店・2/2 コープしずおかさんじの店・2/16 ALWFロッキーセンターにて】



毎年、静岡県労働金庫と共同開催している消費生活セミナー。今年度は、今話題のスマートフォンについて、知っておきたい注意点を学ぶ講座を開きました。その中で、ケータイとスマホの違いや利便性とリスク、子供に持たせる際の対策に触れ、ケータイはインターネット付き携帯電話、スマホは電話機能付き小型パソコンと表現し、子どもに持たせる時は、フィルタリングをかけて悪影響をあたえる情報を遮断し、良い情報だけを見られるようにすること、また、購入する時販売店で必ずチェックしてもらうことも大切と説明しました。便利な反面、間違った使い方をすると高いリスクを伴うことに触れ、「技術的な対策だけでは子供を守りきれない。最後に子供を守るのはあなたか家族の絆です。」と結びました。

●「ALWF(アルーフ)ロッキーセンター」のご利用をお待ちしております!!

会議室の利用方法や料金等のお問い合わせ、お申し込み等は下記で承ります。

■問合せ先

公益財団法人 静岡県労働者福祉基金協会
ALWFロッキーセンター

〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1 静岡県労働者総合会館3階

TEL 054-273-3000 FAX 054-272-7326



ALWF ロッキーセンター

静岡ワークライフ研究所

参加者募集

自主研究発表セミナー 静岡県におけるサポートシステム 構築に関する調査研究

静岡ワークライフ研究所では、2011年度から2年に渡り「静岡県におけるサポートシステム構築に関する調査研究」を行ってまいりました。「就労」「地域」「若者」を切り口として、様々な困難に直面する人々を地域全体で支援するサポートシステムについての提案をしたいと考えています。

是非とも参加者の皆様と共に議論を深め、「静岡型サポートシステム構築」の足掛かりにして頂きたいと思っております。

【開催日】 2013年4月26日(金)
【開催時間】 14時00分~(受付開始13時30分)
【開催場所】 静岡県勤労者総合会館3階
ALWFロッキーセンター
(公財)静岡県労働者福祉基金協会
「大会議室」

【参加対象者】 一般
【参加費】 無料
【参加人数】 70名

【プログラム】
開会 14時00分
I部 14時10分~14時40分 調査報告
— 休憩 —
II部 15時00分~16時20分
パネルディスカッション
「静岡におけるサポートシステム構築に向けて」

申込先 ☎054-273-3000

第26回 無料法律 相談会



開催日:2013年6月27日(木)

会場:静岡県勤労者総合会館内

時間:開始時間調整中(下記へお問合せ下さい)

定員:各時間3名計9名(事前予約制・先着順)

申込問合せ:ライフサポートセンター中部

TEL054-270-3963(平日9:00~17:00)

この相談会は、静岡大学法科大学院との共催、生活協同組合ユーコープの後援により、将来、法曹をめざす大学院学生の実務技能教育と大学院の社会貢献活動を兼ねて開催しております。ご相談には、大学院教員である弁護士(実務家教員)と大学院学生が同席し応じ、約1時間じっくりお話を伺いアドバイスをいたします。

日常生活で起こるトラブルや悩みごと等のご相談に応じます。
お気軽にご利用下さい。

- ★暮らし何でも相談
消費生活、家庭、労働、子育て、介護、年金、住まい、多重債務、融資だけでなく、生きがい、生活設計、ボランティアなど、充実して暮らすための相談なども結構です。
- ★豊富な相談協力ネットワークにより、適切な専門機関をご紹介します。
(弁護士、司法書士、行政機関、社会福祉協議会、金融機関、NPO団体等)
- ★相談は原則無料
- ★県内6箇所のセンターで相談に応じます。

相談ダイヤル

受付は平日
9:00~17:00

東部:055-922-3715 西部:053-461-3715
中部:054-273-3715 中東遠:0538-33-3715
しだはいばら:054-646-6055
岳南:0545-51-3715

増田 智彦さん
地区労福協名と役職:掛川地区労福協 事務局長

- 出身組織:ヤマハモーターパワープロダクツ労働組合
役職名:執行委員長
- ①趣味:近所を散歩
 - ②モットー:何事にもチャレンジ
 - ③最近感動したこと:子供のバレーボールの試合をビデオで見た時の我が子の成長ぶり
 - ④最近失敗したこと:地元の新年会で日本酒を呑みすぎて潰れたこと

みなさん、こんにちは。

掛川地区労福協で事務局長を仰せつかっております増田です。私はこの地区の事務局長の任務について3年目に突入いたします。まだまだ至らない点が多々あるかとは思いますが、周りの幹事の皆さんをはじめ、多くの方にご協力を頂きながら、精一杯任務を務めております。この場をかりて、まずは皆さんに感謝を申し上げます。

さて、人物紹介のリレートークということで原稿依頼を受け、これまでの方々の原稿を再度読み返してみましたところ、各地区の事務局さんはそれぞれ多彩な趣味や、これまでの経歴などが豊富で改めて感心いたしました。いざ私は何か...?と考えると、なかなか思い浮かんできませんでした。そんな中でも、近頃私が最も考えさせられたことをお話させていただきます。

成功を成し遂げた方の書いた本を読んで、今の自分はどうかと改めて見つめ直すきっかけとなったことがありました。その本にはこのようなことが書かれていました。

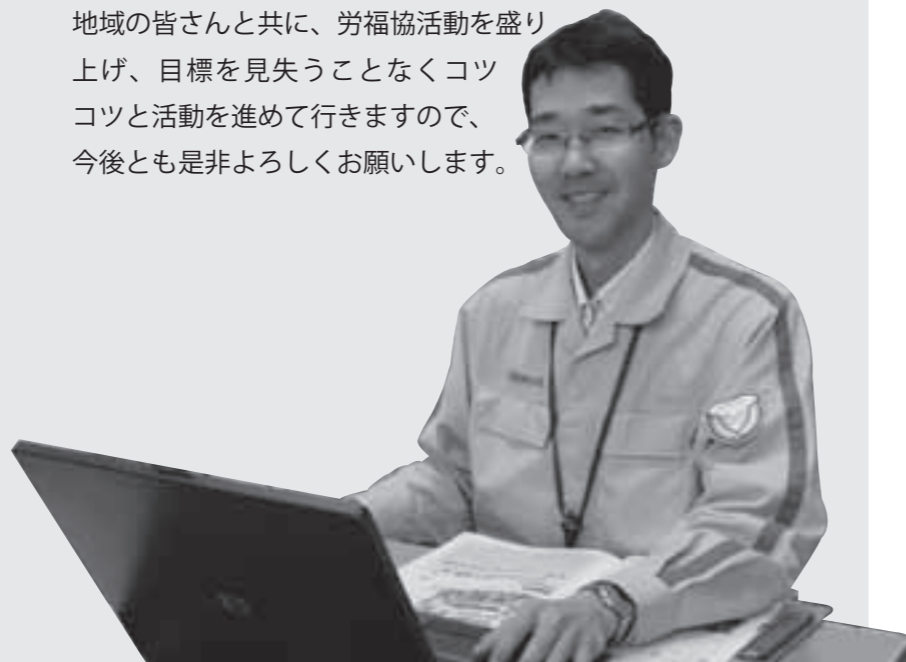
『成功するためには、成功するまで続けることである。途中であきらめて、やめてしまえばそれで失敗である。だから、くじけることなく繰り返していく。決してあきらめない。成功するまで続ける。』

これは仕事ではもちろんのこと、どんなことにも言えることであり、例え失敗してもその失敗から何かを掴み取りやり直す。そうした繰り返しが自分自身の知識や経験を成長させ、いつかは成功に結びつくこと

ができると思います。

今の時代は直ぐに結果を求められ、なかなか失敗が許されないような雰囲気となって、結果として高い目標・チャレンジを拒んでしまいがちですが、何か一つは大きな目標に向かって日々コツコツと取り組んでいかなければいけないと考えます。自分自身、実際にはこのコツコツと地道に続けることが非常に苦手で、直ぐに「まあいいか!これだけであれば十分」と勝手にゴールを変更してしまうことがあります。立てた目標を見失うことなく、今の自分にとっては非常に高い壁であったとしても、いつかは乗り越えてやるんだ!という意気込みとチャレンジ精神を持っていけば、『乗り越えられない壁はない』と信じて、色々なことにチャレンジしていきたいと考えています。

今後も、生活者・勤労者にとってまだまだ厳しい環境ではありますが、生活への不安を少しでも払拭するために、組合役員や地域の皆さんと共に、労福協活動を盛り上げ、目標を見失うことなくコツコツと活動を進めて行きますので、今後とも是非よろしくお願ひします。



乗り越えられない壁はない

新企画
運動継承
事業団体職員・労福協役員へ贈る言葉
4回シリーズ
その4



労働組合の活動として、国会請願、陳情、地方議会への意見書提出、示威行動(デモ、大行動、集会)、署名など幾多のものがありました。が、画期的なものとして「自然災害に対する国民的保障制度」の実現を目指す運動がありました。阪神淡路大震災を契機に、全国で二千万人全員の署名が集められ、政府(梶山静六官房長官 当時)に提出されました。(写真参照)

静岡県内では、過去最高の八〇五、八八八人の署名、静岡県議会をはじめ県下五七の市町村で意見書が採択されました。この活動の中軸となったのは、(財)全労済協会の呼びかけにこたえてつくられたプロジェクトの「自然災害に対する国民的保障制度の提言」(一九九六年一月一七日付、全国紙への全面意見広告)を皮切りに「自然災害に対する国民的保

「被災者支援法」の成立

藤田 克己
(元、県評事務局長)

障制度を求める国民会議(代表世話人・貝原俊兵衛知事ら)に結集した、阪神淡路大震災の被災地の、切実な討議と提案からスタートした運動でした。

この結果、一九九八年五月十五日、「被災者生活再建支援法(被災者支援法)」が成立、都道府県が拠出して基金をつくり、自然災害で住宅を失った人に最高百万円の支援金を支給する制度が、一九九九年(平成十一年)度から施行されました。

被災者支援法が出来るまでは、自然災害に起因する個人被害については、自然災害によるものであるから、どこにも責任がなく、その回復は自助努力が原則とされていきましたが、相互扶助、社会連帯の立場にたった制度が構築されるキッカケになったものといえます。

消費者金融(サラ金)と世話役活動

「今なら間に合う!負担軽減のため、まずは相談しよう!」(クレジックキャッシング・サラ金の被害をなくす静岡県民会議)のパンフレットが手許にあります。

競輪、競艇、オートレースが県内に多くあつてか、借金まみれで、退職に追いこまれる寸前の組合員が垣間みられ、高金利のものから労働金庫借入れ、一括返済の世話役を受けつのも労働組合役員の仕事の一つでした。(二年間、投稿ありがとうございました。)



志太地区労福協



志太地区労福協 設立記念パーティー開催

昨年12月1日に、藤枝地区及び焼津地区労福協は合併し、新たに「志太地区労福協」としてスタート致しました。今回の合併で「勤務地」と「居住区」において相互性の高い両地区労福協を一本化する事で、行政への意見反映や政策提言をはじめとする地域を跨ぐ労働者の福祉活動が可能になります。また、今まで以上に両地区相互による協力体制を進めていくことにより、会員が労福協活動に参加しやすくなり、更に組織の拡大・充実した取り組みを行う事ができるようになります。

今回お披露目を兼ね、各事業団体及び行政関係者の方々をお招きし、2月1日小杉苑にて「設立記念パーティー」を開催しました。来賓を含め160名という多くの会員の方にご参加いただき、テーブル対抗ゲームや豪華景品が当たる抽選会を行い、藤枝・焼津地区の会員同士の交流を深めるとともに、今後の活動につながる楽しい時間を過ごすことができました。

北駿地区労福協

福祉とくらしのセミナーを開催しました



北駿地区では、1月19日に例年開催している福祉と暮らしのセミナーを開催し、当日は、退福共・グリーン友の会の方々も参加されました。講師には、J A長野厚生連 佐久総合病院地域医療部地域ケア科医長の色平哲郎様を迎え、「金持ちより心持ち 大往生の条件とは？」信州の赤ひげ先生が痛快に語る」についての講演をしていただきました。

ロッキーカーレッジの講師としての評判をお聞きし、北駿地区でも、ぜひ講演をしていただきたいと思ってお申し込みしました。色平先生は、日本の農村医療に取り組む第一人者であり、超高齢化が進む日本のこれからの医療について、様々な分野の人から、先生のアドバイスを求めに來られるそうです。先生のお話の中で一番印象に残ったのは、「人間関係を円満に長持ちさせるコツは『A K A』あてにしない、期待しない、あきらめる」だと思っています。「今の日本は、医療や生活など、様々な面で他国より恵まれていることが多いのに、それ以上の期待をしているから、どんなことに対しても、マイナスな考え方になってしまっ。最初から『A K A』でいれば、どんな些細なことでも『感謝の気持ち』が出てくる。このことが、心や人間関係を豊かにしていく。」農村では、今の若い人々にも伝えていきたい、という内容でした。

榛南地区労福協

「親子ふれ愛の集い」を開催



2013年2月17日に榛南地区労福協主催の「親子ふれ愛の集い」を開催しました。この「親子ふれ愛の集い」は23回を数え、子供向け映画を上映することで親子のふれ合う場の提供と、映画を通じ「友情・絆・思いやり」など子供たちの心の育成に寄与することを目的に行っています。また、各会員企業からも協賛をいただいています。

今年は毎年開催している会場が耐震化の問題から使用できず、牧之原市相良総合センターでの開催となりました。この会場は市街地より若干離れ、かつ分かり難い所にあることから集客を心配しましたが、当日は会場(500人収容)に入りきれない程の人が集まり、心配とは逆に申し訳ない結果となりました。

ふれ愛の集いは午前10時に始まり地区労福協会長・牧之原市長の挨拶の後、ディズニー作品「マダガスカル3」を上映しました。その後お楽しみ抽選会を行い午前中という短い時間でしたが、親子で楽しいひとときを過ごしました。

今回は初めての会場ではありましたが(天候が良かったのか、映画が良かったのか分かりませんが)、会場に入りきれない人たちが来た場合、どのように対応していくのか来年に向けた課題も見えました。

伊東熱海地区労福協

伊東市内全高校で「マネートラブルにかつ!」講座を開催



伊東熱海地区労福協の要望書提出をきっかけに、昨年、伊東市版「マネートラブルにかつ!」が発行されました。伊東市内各所での配布のほか、民生委員、ケアマネージャー、ホームヘルパーの研修など、お金や消費取引のトラブルを防ぐために活用されています。

伊東熱海地区労福協では、これから社会に関わっていく若者への啓発に活用したいと考え、市内の高校に働きかけてきましたが、昨年12月に県立伊東商業高校、今年2月に県立伊東高校および伊東高校城ヶ崎分校と、市内全3高校で「マネートラブルにかつ!」講座の開催が実現しました。伊東商業高校では1年〜3年生の全校生徒、伊東高校および伊東高校城ヶ崎分校では3年生を対象に開催し、計700名余の高校生が、とても熱心に聴いてくれました。講師はろうきん伊東支店の井出雄大、石川祐輝、佐々木清陽の若手3職員。年齢の近い講師が、自身の体験をまじえてお話ししたので、高校生にも受け入れやすかったのかもしれない。

当日の様子は地元ケーブルテレビ2社でニュース放映され、新聞でも取り上げられました。「マネートラブルにかつ!」は、まだまだ活用範囲があると思いますので、労福協では市との協調をすすめていきます。



ウチの子、春から大学でお金がかかるんだよね

新しいクルマ、いいよねえ

マイホーム、欲しいなあ

…進学のこと。

…クルマのこと。

…マイホームのこと。

いつも、あなたの目線で。

暮らしのあれこれ、ご相談は〈ろうきん〉へ。

お子さまの入学を応援します!
〈ろうきん〉教育ローン

クルマやバイクの購入から車検まで!
〈ろうきん〉オートローン

マイホームの夢の実現に!
〈ろうきん〉住宅ローン

つもる話はアフターファイブに。

県内(ろうきん)の全営業店で開催中!
水曜よりみち相談会

毎週水曜日 17:00~19:00
各種ローンはもちろん、預金や個人向け国債、投資信託の相談もOK。

予約優先 ※1

はずむ話はデイトタイムに。

県内ローンセンターで開催中!
日曜のんびり相談会

毎週日曜日 9:00~12:00 13:00~16:00
3ローンセンターでは土曜日にも相談OK。
浜松中央ローンセンター・静岡中央ローンセンター・富士ローンセンター

予約制 ※2

※1 ご予約のない場合、混雑状況により当日のご相談をお受けできないこともありますので予めご了承ください。
※2 個人向け国債、投資信託のご相談は予約制となります。
※ いずれの相談会も、一部開催しない日がございます。

いつもあなたの目線で。
静岡ろうきん

ビバ! de ろうきん 携帯電話からでもOK!
フリーダイヤル 平日 9:00~18:00
ご予約は **0120-609-123**
インターネットホームページ
http://shizuoka.rokin.or.jp

ZENROSAI NEWS

火災、自然災害、盗難までワイドな保障
自然災害保障付 火災共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済

いつ起きても
おかしくない
火災や自然災害から
暮らしを守ります。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済保障のことなら事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

1812B034

火災や地震・台風・竜巻・落雷などで住まいが損壊したときいち早く生活を立て直すための保障です。手頃な掛金で、幅広い保障を実現。持ち家の方だけでなく、賃貸住宅にお住まいの方も、いざというとき、しっかりバックアップします。

暮らしをトータルに見守る多彩な共済
http://www.zenrosai.coop/shizuoka

全労済静岡県本部
静岡県労働者共済生活協同組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-1180

東部支所(共済ショップ沼津店) 〒410-0046 沼津市米山町11-24 ☎055-923-1755
中部支所(共済ショップ静岡店) 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4 ☎054-254-3312
西部支所(共済ショップ浜松店) 〒430-0929 浜松市中区中央3-15-37 ☎053-453-5888

読者のページ

■労福協だよりを届けてくれる労金の担当者の人がとてもよい人で、つついっしかり中身も読んでいます。
富士宮市 吉野様

■「さばじゃが君」青魚と野菜たっぷりの体に良さそうなコロッケは美味しそうでぜひ食べてみたいです。こういった情報はなかなか知られなかったので大変よかったです。
伊東市 土屋様

■昨年11月27日 福祉とくらしのセミナーの向井亜紀さんの『夢が生きる力になる』に参加させていただきました。子宮けいがん14回も手術され、キツかったり泣けてきたりした中でもhappyになれる素敵なお話でした。ありがとうございました。
静岡市清水区 望月様

■いつも楽しみに拝見しております。今回はワーカーズライブラリーの開設に惹かれました。労働組合が主体となった人材教育に注力したいと考えており、組合役員の研修や勉強会などにも使えるのではないかと期待しております。
静岡市清水区 池ヶ谷様

■私は宮城の農家を救うカンパの募集に賛同しましたが、全部枯れてしまったと思われたアセロラ園の木から奇跡的に芽が出てきた木があるとの記事を読みました。ブルーベリーの木もりっぱに強く育ってくれるのを祈ります。
富士宮市 藤澤様

プレゼント
あなたも労福協だよりにご意見、ご質問をお寄せください。掲載させていただいた方には粗品をプレゼント!

事務局員紹介 湖西
(湖西地区労福協担当)

ふじわら
氏名/藤原ゆかり
血液型/O型
趣味/演劇・映画鑑賞、ライブコンサート、抹茶スイーツ

労福協事務局員として雇用していただいて8年目になります。地区の役員さんとの絆を感じながら働かせていただいています。ひとつの行事を終える毎に感動や達成感を受取る事ができ自分の成長を感じられ、やり甲斐のある職場です。事務所はJR鷺津駅より徒歩3分の好立地の場所にあります。ぜひお立ち寄りください。

あなたも
2,000円をゲットしよう!
ホームページからの応募も可能です

(1) 労働金庫は今年で創立何周年になりましたか?
A.30周年
B.60周年
C.100周年

(2) 災害ボランティアによる救援活動のための図上訓練は今年で何回目?
A.5回 B.8回 C.10回

(3) 伊東市内全高校で開催された講座は?
A.「マネートラブルにかつ!」
B.「住まいのトラブルにかつ!」
C.「恋愛トラブルにかつ!」

答えをA・B・Cの中から選んでいただき、ハガキ・FAX・E-mailの何れかでご回答ください。正解者の中から、抽選で5名様に2,000円のUCギフトカードを差し上げます。また、ご意見・ご感想等をお寄せいただき、掲載させていただいた方には粗品をプレゼントします。

■締切日 2013年5月31日(金)まで [消印有効]
■記載項目 ①お名前 ②電話番号 ③郵便番号と住所 ④クイズの答 ⑤メッセージ

応募先 〒420-0851 静岡市葵区黒金町5-1
県労福協「だより編集係」
FAX 054-273-3110

E-mailは労福協ホームページの郵便ポストをご利用ください。郵便ポストをクリック

クイズ 前回の答え 当選者

(1) A: さばじゃが君 ○静岡市葵区 勝又 敦子 様
(2) B: ワーカーズライブラリー ○静岡市駿河区 成田 憲治 様
(3) C: ブルーベリー ○掛川市 花村 和彦 様
○浜松市中区 犬塚 直美 様
○湖西市 水野 晋 様

応募総数61通の内、正解者の中から抽選した結果上記の方が当選されました。おめでとうございます。

労福協のホームページ
*クイズの応募やご意見等の投稿ができます
検索サイトはこちらから
静岡県労福協 検索

労福協のブログ
*営業日は毎日アップしています。(写真好評中)
検索サイトはこちらから
こちら黒金町 検索

全国共通お食事券

東日本復興支援 ジェフグルメカード

— 支援活動が <2013年度> も継続されます —



東日本復興支援ジェフグルメカード

ご購入いただくことで1枚につき5円を
「復興食イベント・フード&アクティブキャンプ」の事業等に
寄付させていただきます。

- 額面は通常のジェフグルメカードと同様 500 円券で、ご利用可能店舗等も全て通常券と同様です。
- 復興支援活動資金は、販売代金より(株)ジェフグルメカードの負担となりますので、ご購入されるお客様およびご利用されるお客様のご負担は一切ございません。
- 東日本復興支援ジェフグルメカードは、2014年3月末日までの販売です。



「復興食イベント・フード&アクティブキャンプ」について

農林水産省・文部科学省が(独)国立青少年教育振興機構・(社)日本フードサービス協会と共同で開催します。ジェフグルメカードはこの事業に特別協賛させていただきます。

- 目的：東日本大震災で、様々な影響を受けた子ども達の心身のリフレッシュを図るとともに、「食」への理解を深めるために行います。
- 対象：被災地に在住の幼児又は小学生のいる家族を対象として、無料で招待します。

お買い求めは

(株)静岡ユニオントラベルの
ホームページ内、オンラインショップ
または FAX でお申し込みいただけます。
FAX のお申し込み用紙はオンライン
ショップからダウンロードできます。

オンラインショップ URL

<http://www.union-travel.co.jp/jefgurumet.html>



スマートフォン
携帯電話は
こちらから

静岡ユニオントラベル

〒422-8067 静岡市駿河区南町 11-22 労働会館 3F

TEL 054(203)6877(代) FAX 054(203)6878 <http://www.union-travel.co.jp>

労福協だより 2013 春号

発行日/平成 25 年 4 月 1 日 発行所/(一社)静岡県労働者福祉協議会
発行責任者/金指 敦之 TEL.054-221-6241 FAX.054-273-3110

検索サイトからご覧いただけます

●Eメール

rofukukyo@mx1.s-cnet.ne.jp

●インターネットホームページ

<http://www.s-cnet.ne.jp/~scn00855/>

静岡県労福協

検索